

# ポスト胡錦濤政権の 中国の政治経済見通し

富士通総研経済研究所

柯 隆

# 1. 景気減速の本格化

- 経済成長率の減速：2010年10.4%→11年9.2→12年第一四半期8.1%→第二四半期7.6%→第三四半期7.4%
- インフレの再燃の可能性：  
CPI：7月1.8%→8月2.0%→9月1.9%
- 住宅バブル再燃の可能性
- 金融引締から金融緩和への方針転換

## 2. 経済政策の新たな動き

- 経済成長目標の引き下げ(8%→7.5%)
- 産業構造の転換
- 外需から内需への転換
- 所得分配の公正化
- さらなる経済制度改革
- 政治制度改革の動き

### 3. 政権交替の行方

- 第18回党大会と権力闘争の激化
- 共産党青年団VS太子党
- 胡錦濤グループVS江沢民グループ
- 改革派VS保守派

## 4. 所得分配の公正化と利益集団の 既得権益

- 権力と腐敗温床
- 利益集団の抵抗
- 幹部の資産公開
- 労働分配率の向上
- 課税の合理化

## 5. 持続可能な経済成長とさらなる金融制度改革

- 国有銀行の独占の打破
- 社会保障基金による株式投資の拡大(40%)
- 金利の自由化の動き
- 影の銀行
- 民間金融の正規化
- 中小企業金融の強化

## 6. 言論統制の強化

- ネット管理の厳格化
- 活動家に対する監視の強化
- 水際作戦の強化
- 政権交替に向けた環境醸成

# 7. 尖閣危機の行方

- 国益の対立
- 国民感情の悪化
- 対話できない日中両政府
- 尖閣危機の出口



## 8. 日本企業の対中戦略の変化

- 中国に経営資源をシフトしようとする日本企業
- 高まる日中の相互依存
- 日本企業の新たな対中投資戦略